



今回行ったのは

オーキッド歯科クリニック  
金沢八景

A44 横浜市金沢区大津2-14-2  
TEL 045-947-0284  
〒243-0297 (インプラント検査専用受付ダイヤル)  
0154

2009年、早稲谷への住宅地近くに開業。多種多様な症例に対応する治療と、インプラントなど専門性の高い治療を両立させ、地域住民から幅広く信頼を集めている。また、口腔グループ経営、医療、後進育にも力を入れている。



二閑 麗子さん  
1971年、愛知県、都立大卒

読者レポーター

インプラント治療を検討中  
どのように選べばいいか  
専門のドクターに聞いてみたい

以前からトラブルのあった歯に対して、インプラントも含まれている治療方法を検討中。ネットなどで調べましたが情報が散在で、結局どういった治療を選べばいいか迷っています。ちょうどいい機会なので、専門のドクターにインプラントについて詳しく聞き、私に最適な治療を選ぶ参考にしたいと思っています。

新技術の導入で安全性・信頼性が向上。歯の欠損治療の候補として注目を集める

# インプラント治療

失った歯の治療として、ブリッジや入れ歯以外にインプラントを検討する人も増えています。そうした治療に向くケースや治療の進め方の紹介に加え、新技術で安全性・信頼性が高まっている現状などをレポートします。

最新な疑問

## Q&A

オーキッド歯科クリニック 金沢八景  
橋村 吾郎 院長

2000年に神奈川歯科大学を卒業。大手インプラントメーカーのインプラントコーディネーターとして、全国インプラント治療に関する講演会活動を行う。2009年「オーキッド歯科クリニック 金沢八景」創設。インプラント治療は知識と技術に基づいた治療の目的が重要と見え、すべての患者に対して一貫して提供する方針。



Q どのような場合にインプラント治療が向いていますか？

A 入れ歯自体が合わず、使用できない、健康な歯を削りたくない、ブリッジでの治療では残存歯に負担がかかり長く保つことができないなどの理由でインプラント治療を選択する方が増えています。そのように方によってインプラントは失った歯を取り戻すことができる唯一の方法。基本的に全身的に特別な理由がない限りはインプラント治療が可能です。歯茎が薄まっている、顎の骨が少なくなっている、既往の疾患により治療が可能な限りになりました。何より、審美的な整容・カウンセリングが大切です。

Q インプラントの費用と治療後のトラブルへの対応を教えてください。

A インプラント治療は健康保険が適用されず、使われる材料や治療技術、治療器具などで費用は異なります。一般的に1本の歯の治療で平均30~40万円が必要といわれます。通常は最初の歯肉の診察で治療計画を立て、同時に費用の見積もりも提示されるはず。そこで納得いく金額なのか判断されてはいかかでしょうか。また治療後には、必ず定期検診が求められます。こうした場合にもどのような対応ができるかを、検診内容についても確認してください。

Q 最近のインプラントには、どのような技術が使われるのでしょうか？

A インプラントの技術発展は目覚ましく、信頼性や安全性は格段に向上しました。私は最新の手術の機械的便利も重視だと考えています。例えば、3D画像をシステムに取り込み、患者さんに最適なインプラントの位置や向きを専用ソフトにより自動的にシミュレーションする計画手帳は必須の技術といえるでしょう。これなどは治療計画の精度を飛躍的に高められ、手術もインプラントで行えます。さらに、歯肉を削らない「フラップレス」手術も注目されています。

レポートを終えて……

○ドクターからのメッセージ



現代は病気のものから単なるうねりレベルまで多様な層が広がり、クリニック選びは難しさを増す一方です。そうした中で信頼できるクリニックを見つけるには、やはり直接相談していただくのが一番。すでに治療中ならセカンドオピニオンも活用し、1ヵ所だけで決めず、2、3ヵ所訪ねて比較されるのが確実でしょう。またそうやって選り合ったドクターを信頼し、じっくり付き合うことも大切。治療中でも疑問や不安があれば遠慮なく質問し、納得した上で治療を続けていきたいと思います。

○読者レポーターのコメント



読まれた取材時間内でも資料やモニターの画像を見せてくれるなど、可能な限りわかりやすく説明してくれる姿勢が好印象。こちらの質問にもきちんと答えてくれた。とても信頼できる感じでした。インプラントについてよく知らない場合は不安でしたが、最初にしっかりと治療計画を立て、できるだけ短時間で安全に手術を終える準備をされる、といった話を聞き、安心してインプラント治療を選べそうです。またスタッフの皆さんも明るく、気軽に相談できる雰囲気なのもよかったです。

4 痛みをできるだけ減らした  
体への負担が少ない手術を実施



歯肉を切り開き、インプラントの土台を埋め込む歯肉の位置を確認する方法もあるが、今回は精度の高い治療計画のもとに「フラップレス（無切開）」の手術を行う。安全性が高く、腫れや痛みも少なく、手術時間も短縮できるなど、患者の体への負担も少ない。

5 新しい技術をもとにした  
歯の作製・連結方法を採用



歯茎に埋め込む土台に加工する人工歯も、作製方法や取り付け方法が違えば、精度はデジタルデータをもとに作り出しを行うCAD-CAMで作製。材質には割れにくいフルジルコニアを採用。それをセメントを使用せず土台に直接ネジで取り付ける方法で、歯茎の炎症も起こりにくくなる。また、奥かトラブルが起こってもネジを外してフォローできるメリットもあり、今はこの方法が主流になりつつある。

2 治療計画と治療方法をわかりやすく説明する



CTのデータをもとに、新しく埋めるインプラントと周囲の歯の位置関係、埋める高さや深さなどを専用のソフトで計画するのが時間的基本。口内全体を写した最適なプランを立て、歯茎・歯肉のシミュレーション画像などを見せて治療計画や治療方法を説明する。患者としっかりコミュニケーションできるまで、説明を複数回行うことも、この時点で費用の見積もりも提示される。同様の検査、1本の治療で30~50万円。

1 口腔内の画像も参考に  
カウンセリングと診察を行う



歯の色合わせ、審美性を考慮し、最終的な歯の位置など治療のゴールを最初に決めてから治療を進める「トップダウンリトメント」が口腔の形や方針。そのための最終的な治療計画の精度が非常に重要となる。インプラント治療者に対して、初診時に本人の考えなどをじっくりと聞き出し、X線、レントゲン、CTなどで口腔内の検査を行い、「歯を失った原因は何か」まで確認する。

3 手術前に虫歯などを徹底治療  
事前クリーニングも丁寧に行う



歯肉の検査・虫歯および治療計画の内容をもとに、残った歯の虫歯や虫歯、歯茎や歯肉の炎症を治療。口腔内の環境を整え、虫歯病が改善されるまで手術が先延ばしにされることもある。さらに手術1週間前、手術直前の最終診察は歯科衛生士が口腔内をクリーニングする。こうした丁寧な事前準備がインプラントを長持ちさせる前提条件だ。

実際の流れを紹介